

エポキシ樹脂接着剤(高せん断接着)

EA934-3



● 内容量…200g(本剤(110g) + 硬化剤(90g))

引張る力に強い常温硬化型二液性エポキシ樹脂。

スリーボンド2082Cは、エポキシ樹脂を主成分とした常温硬化型二液性エポキシ樹脂です。ゴム微粒子をエポキシ樹脂に均一分散させることで硬化物の「もろさ」を改善し、常に安定した強靱性、高接着性を発揮します。可使時間が常温(25℃)で70分と十分長く、約24時間後には最終強度の約90%に達します。

特 長

- ① 強力な接着力を発揮します。
25MPa(250kgf/cm²)以上。
- ② 可使時間が長く作業性に優れています。
- ③ 強度の立ち上がりが早く、常温(25℃)で24時間後には最終強度の約90%に到達します。
- ④ 本剤と硬化剤は目分量等量混合型ですので混合作業が楽にできます。

用 途

各種金属、プラスチックなどの広範囲な物質の接着に適します。

- ① 自動車、車両、船舶関係の修理接着。
- ② 電気、電子部品の接着。
- ③ 精密機器、工芸品などの接着。
- ④ スキーやラケットなどの運動用具の接着。

■使用方法

- ① 表面処理
接着面の水分、油分、錆、その他の汚れをきれいに取り除いてください。錆はサンドペーパーなどで、油分はシンナーなどで落としてください。
- ② 混合
本剤と硬化剤をおよそ1:1(容量)の割合でチューブから取り出し、均一になるまで混合するようにしてください。
- ③ 塗布
ヘラなどで接着面に薄く均一に塗布し、貼り合わせてください。貼り合わせたらセロテープなどでとめるか、物によってはおもしろしてください。
- ④ 硬化
常温(25℃)で約3~5時間で初期接着します。10時間で実用強度(50%)に達し約7日間で完全に硬化します。混合しない限り固まりませんが、いったん混合すると化学反応により固まりますので、混ぜたものは可使時間以内に使用してください。

■性 状

試験項目	単位	本剤	硬化剤	試験方法
外観	—	白色	褐色透明	3TS-201-02
粘度(25℃)	Pa·s(P)	15(150)	16(160)	3TS-210-02
比重(25℃)	—	1.19	0.98	3TS-213-02
配合比	—	100	100	容量比
可使時間	分	70		25℃、100g
標準硬化条件	25℃×24時間または60℃×1時間			
硬さ	—	D76		3TS-215-01
引張せん断 接着強さ	MPa (kgf/cm ²)	25(250) : 25℃×7日間		3TS-301-11 (Fe/Fe : SPCC)
		26(260) : 60℃×1時間		
		28(280) : 80℃×1時間		
		13(130) : 25℃×7日間		
はく離 接着強さ	kN/m (kgf/25mm)	20(208) : 25℃×7日間		(Al/Al) (SUS/SUS) (ガラエポ/ガラエポ)
		21(215) : 25℃×7日間		
		2.0(5.0) : 25℃×7日間		
		1.7(4.3) : 60℃×1時間		3TS-304-21 (Fe/Fe : SPCC)
		1.8(4.5) : 80℃×1時間		

※上記の特性値は実験値であり、保証値、規格値ではありません。()は参考値です。

■使用上の注意

- ① 本剤と硬化剤はそのつど、必要量だけを取り出し、十分に混合してください。混合が十分でないと硬化が不十分になり、接着不良を起こす原因になります。
- ② チューブにキャップをするときは必ず元のチューブにはめ込んでください。
- ③ 室温で一日で硬化しますが、冬季など10℃以下の温度では、完全な接着が行われないので、できるだけ加熱硬化を行ってください。
- ④ 直接皮膚に接触すると炎症を引き起こす場合があります。皮膚に付着した場合は、紙や布で拭き取り、石鹸水でよく洗い落としてください。眼に入った場合は、清水で洗浄後、医療処置を受ける手配をしてください。
- ⑤ 使用後は密栓し、直射日光の当たる所、高温になる所、水のかかりやすい所、湿気が多い所を避けて保管してください。

■廃棄方法

産業廃棄物として産業廃棄物処理認定業者に委託して処理してください。

■容器形態

200gセット:本剤(110g)、硬化剤(90g) チューブ入り